PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

55-091423

(43) Date of publication of application: 11.07.1980

(51)Int.Cl.

B60K 41/02 // B60K 23/02

(21)Application number : 53-165626

(71)Applicant : IIDA YOSHIJI

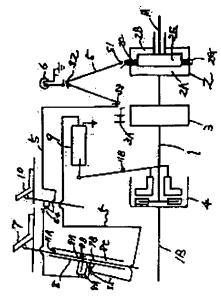
(22) Date of filing:

30.12.1978

(72)Inventor: IIDA YOSHIJI

(54) METHOD AND DEVICE TO EXTEND RUNNING DISTANCE OF VEHICLE BY MEANS OF ITS INERTIA (57) Abstract:

PURPOSE: To enhance fuel efficiency by disconnecting the engine from the car as well as setting the engine into low speed revolution when the revolution corresponding to car speed exceeds the engine revolution. CONSTITUTION: When the revolution 1A of a car becomes higher than the revolution 1B of the engine, "2E" of the inertia transmission unit 2 turns clockwise, putting on the switch S1. Thereby the electric motor 10 is actuated, releasing the engagement of the clutch 4, and the accelerator rod 8A is pushed by the action of the electromagnetic unit 9A of accelerator regulator 9 and thus coupling with the accelerlator rod 8B is disconnected. Accordingly, the engine is disconnected from the car and revolves in a low speed regardless of the accelerator pedal s 8 position, so that the car runs by its inertia assuring a high fuel efficiency.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner s decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner s decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner s decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner s decision of rejection)

[Date of extinction of right]

BEST AVAILABLE COPY

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

@ 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

◎公開特許公報(A)

昭55-91423

©Int. Cl.³ B 60 K 41/02 // B 60 K 23/02 織別記号

庁内整理番号 6774-3D 7721-8D ❷公開 昭和56年(1980)7月11日

発明の数 2 審査請求 未請求

(全 9 頁)

❸車の惰性により走行距離をのばす方法とその 装置

创特

顏 昭53-165626

23 Hi

演 昭53(1978)12月30日

砂発 明 者 飯田佳司

熊本県球磨郡水上村大字岩野10 44番地

か出 願 人 飯田佳司

熊本県球磨郡水上村大字岩野10 44番地

24 1

1. 発明の名称

単の機能により進行議論をのはず方法とその表現

- 2. 将許訓水の範囲
 - (1) 本の定行で本に加速が出来権力が付き、エンソンの回転より事の回転の方が早くなった 時点で、エンソンの回転と事の倍級とを宣動 時に切りはをし、同時にアクセルを踏んでい てもエンノンの回転を依返回転にして、事を 個性により急行をせ、事の特性により定行退 軽々のは十方法。
 - 前項記載の方法で走行の草をエンジンの個 転を上げ加速あるいは遺蔵を保つために、ア カモルを暗むだけで自動的にエンジンの回転 と草の回転とをつなず、加定みるいは速度を 保つことが当来る。特許請求の範疇等1項記 載の並の存性によりま行函難をのばす方法。
 - 65 特許請求の範囲第1項及び第2項記載の方 弦の主行、又、能深端りの表行及び挙退(バ

- ック〉が必要に広じて出来る特許調水の転割 36、項及び43。項乙酸の本の物差にようま作 距離をのばす方法。
- 四 特許納水の時間第1項第2項第3項記載の 方法の実践に直接使用するエンジンの回転よ り本の回転の方が早くなった純点で、現気を 随し電磁機又は電影器によりクラッチの併合 を解除し、と同時にアタモルを済んでいても エンジンの回転を改造回転にして単を傾性に より表行させ、又、エンジンの回転を上げ、 加速あるいは速度を保つためにアクセルを築 むたけて自動的ドクラッチを係合し、加速を るいは速度を保つととが出来る。単の情性に よりま行起業を保つととが出来る。単の情性に よりま行起業をのばす姿容。
- 始 特許請求の範囲等1 羽記数の方法の支行。又は供表通りの支行及び後退(バック)が必要に応じて出来る。特許請求の重団第4 守配数の車の骨後により地行便業をのばて装置。
- 3. 発明の詳細を説明

この影明は事化加走が出来権力が付き、ニ

. 2

幹部 枢55-91 423(2)

ンジンの回転より等の回転の方が早くなった 時点で、自動物にエンジンの回転と等の回転 とを切りは立し、車を修改杯より走行させて、 燃料のと当りの走行回離をのばす方弦及び芸 電である。

従来の直は軍の走行で加速が出来増力が付着。 エンジンの国転より車曲体で走る単の国転が 早くなれば、エンジンはエンジンフレーやに より車の流行を遊げるので、車の速度を保つ たわに必要以上にエンジンを回転させ終料を 必要以上に受いやしているのである。

この発明は、エンダンの回転を率の更行比必 要なだけ個がせ、象分を回転を抑えて燃料の 効率を高めることを目的とする。

管拠の節約が叫ばれている現在、自動車の依 84 4 当りの東行既群又撤費が注目されている 昨今、東自体又エンジンの改良は進んでいる が、運転の方法でよってもずいぶんと岩行団 環はのぶものである。

それは事に協力が付いた時点で、クラッナを

3

回転とかの回転とを切りはなて装置が加かないよう)に選続者の手充で簡単に操作出来る 様にするのが好きしい。又、情性化より支行 国際をのばす方法の支行の時には、運転者に 良くわかるように運転室の近くに目前のラン アを付け、情性化より並行距離をのばす方法 の支行、又は、従来通りの走行が一貫で判明 し安全に走行出来る数にする。

次化本規則の一関節例を図面にしたがって 説明する。

エンダン(園面省略)の回転1B1 b aの回転1 Aの方が早くたると、情性重動磁2の2 Eが時影の方向へ回転し、空間28へ影動し 突縄2 Dを押し上げスイッサ S 1 を入れる。 その延遠により電磁線又は電動機10が作用 してクリッチ 4 の保全を無難し、同時にフタセル調整機9の電磁機 9 Aの使用でアラセルファ 8 Aを弾す。 8 A は支瓜11 A を有し、フタセルロッド 8 B との週間をはずす。 アクセルベタル8 以降されているので、アク 切り、エンジンの値紙をスローに移し、事を 領性により定行させる。そして適度を係つ為、 あるいは速度をあげるためにはクラッチをつ なぎ、同時にエンジンの配板をあげるのくり 返しの運転をすることであるが、現代の運転 当になそくわない。そこでこれを自動式にし たのかこの方法及び放板である。

しかし、単の情性により走行短線をの試す方 選により発行するのは、必須の道路(長い下 り扱道、曲りくれった山道等でない道路)で の使用が記すしく、車のエンジンプレーキが 必要を場合がある。それは、長い下り扱道、 曲りくねった山道、直に置荷を積んだ時、遅 転の初必者等である。

これられば健康通りの免行が必要であるので、 関連により免行距離をのばず方法の定符、又 使来通りの表行及び休息(パック)が出来る 数(パックの場合、本れつたわる回転が視底 の反対の回転なので、エンジンの回転より事 の回転の方が早くなった時点で、エンジンの

4

セルロッド888日は何されてアウルルの検 能は飾いているが、運避接9Aの作用で署約 をはずされると8日は元の位置へ返り、エン ソンの国歌は低速回転とたる。アクセルコッ ド8Aはアクセルベクル8を飾込まれていて も空間9Cへ入りアクセルの機能は動かない。 単は特性によりを行する。

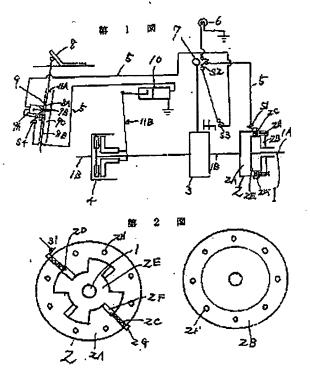
環磁振りAはアクセルロッド8A及び8Bの 運動をはずすとすぐ元の状態へ返る。

事の重要を保つ高又は途底を上げる為には、 アクセルペタルから一目足をはまてとアクセ ルロッド8 Aはスプリング9 B 化より元の伏 助へ減り、ナツモルロッド8 A 8 B は 遅結し アクセル機能域回復する。アクセル8 を踏む とエイッサ5 4 の働きで電気を切り電度施文 は電動線1 8 が解除、グラッチは保合しエン ジンの回転を上げると平の違度を上げる。又 は違反を保つことが出来る。

スイッチ84以一型配気を切るとすぐ先の状態へ返る。電磁膜又は電動器10の原数でク

サッチの存在の間にクラッチの保合歯壁が行 わらかいように、国路域又は電動機な技術体 圧力又はスプリング答により、ケラッチをゆ るやかに係合するようにしなければならない。 損性により定行距離をのばす方法の差行又は 従来通りの走行の切替えは変速チェンジンパ 一てヘメイッチS2を付ける。ダイッチS2 をOPFにすると装置は悩みず、従来消りの 走行が追収る。車が復選(バック)の場合、 回伝軸の回転1分か反対にきふので鉄道が開 かないようにする為にギャチェング8AOハ ックの所にスイッチS3を付け、ギヤチェン Vをバックへ入れるとブイッチSSが構筑を 切り短波は崩かず鉄退(バッケ)が出来る。 惰性伝動機2のスプリング2では突端2万の 設設を調整し、スイッチ 6 I が適当を辞稿に 人る復調藍出来る様化する。又、アクセル調 整備のスイッチョもエンジンの回転と取の団 65の場所で調整出来るようだするのが好すし v.

7



4. 図面の際単を説明

第1 図は本場例の一実施例の全体を示す系 数型。第2超は特性任動機の断面図である。 2 Bは 2 A のカバー。

· □ □ 回転箱 · 2 --- 存性伝動器

3 ---- 変速機 4 --- クワップ

5 ---- 配帳 - 6 --- ブンプ

9 軟油ルー いだいバー

8 --- サクセンベタル

♀---アクセル鈍整機

10 ---電磁機又柱電影機 特許出線人 拔 牙 健 引 名

歩 統 緒 正 咎(自発)

图数6 4年7 月月多日

特許庁長官 韻谷等二數

- 1. 単作の業示 昭和53年特許期第53-165626
- 2 発明の名称
- 3. 補正をする者 車件との関係 軽許出頭人 任 所 館本県主選那木上村大字岩野 1044 番他 近 名 岳 岳 南 g02645-4-0242
- 4. 補 正 の 対 象 類番の正本及び副本の発明の名称の機 明細書の特許譲求の範囲の類 明期番の詳細な説明の物
- 5. 補 正 の 内 容 顕書の正本及び版本の第2行目名録を名称と旅正 明緒書・図面 別版の通り

明 相 書

1. 発明の名称

本の常性により若行昭離をのはす方法とその変。

2. 特許財水の範囲

の 車の走行で草に加速が出来借力が付き、エンリンの回転より車の回転の方が早くなった時点で、エンリンの回転と車の回転とを自動的に切り付えし、同時にアケセルを強んでいてもエンリンの回転を促進回転にして、車を特性により地行させ、車の特性により走行環境をのはナモニ

前野迎敷の方法で良行の車をエンダンの回 転令上げ加速あるいは速度を保つために、アタ セルを踏むだけで自動的にエンダンの回転と率 の回転とをつなぎ、加速あるいは速度を保つと とが出来る。特許請求の範囲第1項記載の車の 情俗により走行距隔をのばす方法。

特許請求の範囲第1項及び第2項記載の方法の必行、义、従来差りの差行及び能遣(バッ

ク)が必要に応じて出来る特許請求の範囲。 第1項及び第2項記載の虫の情報により走行距 能をのばす方法。

w 特許強水の範囲第1項第2項第3項記載の 方法の実施化在接使用するエンジンの回転より 本の証数の方が早くなった時点で、電気を通し 電磁機又は電動機能の作用によりクラッナの係 分を解除し、と同時にアクセルを踏んでいても エンジンの回転を伝達的板にして事を特性により走行させ、又、エンジンの回転を上げ、加速 あるいは速度を保つためにアクセルを踏むだけ て自動的にクワッチをは合し、加速めるいは速 度を保つことが出来る。車の関係により支行链 難をのはず装置。

m 特許諸水の範囲第1 序記載の方法の進行、 又比提来通りの表行及び使退(パック)が必要 に応じて出来る。特許諸求の範囲毎4 項記載の 車の信性により進行距離をのばす寂寞。

3、発明の茶組を説明

るの発明は年に加速が出来博力が付き、エンジ

2

ンの関係より事の関係の方が早くなった時点で、 自動的にエンジンの関係と事の回転とを切りはな し、事を情性により先行させて、燃料のよ当りの 投行関鍵をのばず方法及び装置である。

従来の事は事の走行で加速が出来作力が付き、エンジンの回転より事自体で走る事の回転が早くたれば、エンジンはエンジンブレーキにより事の走行を妨げるので、事の速度を保つために必要以上に乗いやしているのである。

この発明は、エンジンの回転を事の走行に必要を だけ動かせ、エンジンの余分を回転を得えて燃料 の効率を高めることを目的とする。

資源の節約が叫ばれている現在、自動車の差針と 当りの定行距離又応費が控旨されている時今、車 自体又エンジンの改良は違んでいるが、運転の方 法によってもずいぶんと定行簡単数のぶものであ る。

それは軍に加速が出来係力が付いた時点で、ナケッチを切り、エンメンの別編をスローK帯し、単を

徴性により使行させる。そして速度を保つ為、あるいは速度をあげるためにはクラッチをつなぎ、 同時にエンジンの回転をあげるのくり返しの運転 をすることであるが、現代の運転者にはそぐわない。そこでとれを自動学にしたのがとの方法及び 接属である。

それは軍化加速が出来、情力が付き、エンダンの回転より単の回転の方が早くなった時点で、電気を通じ、それにより自動的にクラッチの係合を解除(自動クラッチ操作器9)と見時に、アクセルを除んでいても名動的にエンダンの回転を低速回転に(アクセル調整験8)器す。市は関係により定行する。そして速度を保つため、あるい位速度を上げるためには、アクセルを一旦元へもどし、再び結込むと即動的なメイッチ(アクセル調整機8)により自動的はクラッチの係合む解除(自動アラッチ機件機9)グラッチが係合しエンダンの回転を上げると単の加速が出来る。

しかし、全の体性により走行資産をのばす方法に

特問 度55-91423(6)

より左行するのは、普通の道路(長い下り板道、 曲りくねった山道等でない遺跡)での使用が築す しく、単のエンジンブレーキが必要な場合があるの それは、長い下り状態、動りくなった山道、車に 滋荷を挟んだ時、運転の初心哲等である。 これらには安全走行上従来通りの走行が必要であ るので、情性により進行距離をのばす方法の定行、 又従来返りの走行及び後退(バック)が(バック の場合、単につたわる図板が前端の反対の図板な ので、エンジンの回転より車の回転の方が早くを った時点で、エンジンの回転と車の回転とを切り はなず装置が個かないよう)餌量を操作により母 来たければならず、そのための切香スイッチを進 極者の形元へ付け、運転者が必要に応じ願単に供 作出来る様にする。 又、信告により走行題難その **域す方法の走行の時には、運転者に及くわかるよ** うに選択者の近くド目印のテンプを付け、特性に より我行距離をのはす方法の表行、又は、従来通 りの走行が一旦で判明し安全に走行出来る様にす 80

5

エンジン(図面省時)の関級1月より窓の回版1 Aの方が早くなると、簡単伝動戦2の2 Eが時針 め方向へ回転し、空間2 Fへ移動し契端3 Oを押 し上げスイッチ5 1 を入れる。その現成により自 能々テッチ操作職9が作用してタフッチもの保合 を解除し、同時にアタセル調査網8の電磁機8 A の作用でフタセルロッド7月との連結をは でする

アクセルベタルアは培含れているので、アクセルロッドアATB性得されてアクセルの機能は働いているが、短磁機8Aの作用で適該をはずされるとアクセルロッドアBは元の位置へ返り、エンジンの回転性軽率回動となる。アクセルロッドアAはアクセルベタルアを踏込されていても空間8 C・ヘ人リアクセルの提案は働かない。

本は似性により走行する。

この方法及び故證で売行すると、確実に依約と当 りの即の支行距離をのばす事が出来るが、この方 法の特徴はどんなにエンジン又は取自体の改良が なられ、それにより想要が節約なされても、それ に加えて事の情性により走行距離をのばす方法と 抜既により赴行さればそれだけ会分に並行距離を のばす事が出来、エンジン又は即自体の改良等と は別に無要の類的が出来るのである。

との支行方法及び整徴は、例えば、ガソリレエン ジンの乗用並だけと概定されるととなく、すべて の本、エンジンの理解、本の種類に既保なく使用 する事が出来、強力の付きやすい大型の取から小 さな話の事に登る迄必要に応じて操用する事が出 来るのも大きな特徴の一つである。この室の関値 により走行回撃をのばす方法とその接置を必要に 応じ金車種に採用されたまら車の走行方法の一発 の事命であり、英語の仰約に大きく資紙し名エキ ルギー時代にマッナした実行方法である。

次に本発明の一実施例を慰園にしたがって説明 する。

6

セルペタル7から一旦足を吐立すとアウセルロッドで人はメナリング88により元の状態へ返り、アクセルロッドでAでBは連結しアクセル機能は回復する。アクセルペタルでを踏むとスイッチS4の調ぎで配気を切り自動クラッチ表作根をが解除、クラッチをは係合しエンジンの回転を上げると事の連続を上げる。又は速度を保つことが追求

スイッチ 5 4 は一旦電気を切るとすぐ元の状態へ 返る。自動クラッチ操作競争の解除でクラッチの 係合の時にクラッチの協合面等が伝わらないよう に、自動クラッチ操作競争は電磁説又は電動機又 は磁体圧力又は気体圧力又はスプリング等により、 クラッチをゆるやかに保合するようにしなければ まらない。

なお自動クラッチ操作課9は、短期数又は延齢機 又は成体圧力又は気体圧力又はネプリング等を、 単のエンソンの循環又は単の理測に応じて使用す るのが確ましい。

保証とより走行阻略をのぼす方法の走行文は従幸

特牌 昭55-91 423(B)

通りの走行の切替えは選抜者の手先へスイッチS 2を付ける。スイッナS2をOFFにすると装置 は耐かす、従来通りの定行が出来る。 中が鉄道(バック)の場合、回転軸の回転13が以対になる ので姿質が働かないようにするなにギャチェンジ 3点のパックの所にメイッチ88を付け、ギャチ エンジをバックへ入れるとスイッチS3が電気を 切り装砲は僻かず後退(バッタ)が出来る。特性 倍動優をのステリング2 C候楽館2 Dの強調を調 整し、スイッチ51が適当な時間に入る鉄網整出 来る様にする。又、アクセル調整製のスイッチSe 省エンジンの回転と単の回転の関係で調整出策る ようにするのが好きしい。

受命走行を保つ為には、常性により進行距離をの はす方法の定行又は依葉通りの後行が遅転者に-目で判明山来るのが望ましく、惰性により走行距 載をのはす方法の党行の為スイッチS2をONに し丸時には運転者へ一首で利明する様に、ランプ 6を付け、運転者へ賃性により急行距離をのばす 方法の定行中を知らせて道路状況を応じ気行して

安全運転をする。

4. 図面の簡単を説明

将」図は本発明の一実施例の金体を示す系統図。 第2図は潜法伝動機の新面閣である。

2日社2人のカバー。

1 --- 回答軸

2 --- 惰性伝動機

8 --- 安選選

€~~クラッチ

5 ---- 配 憩

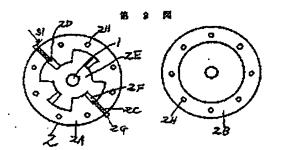
7:*** アクセルベチル

a ---- アクセル団越弾

9・・・・・・ 自動クラッチ操作機

特許出頭人 仮 田

10



(自 差)

特許庁長官

1, 事件の安示

昭和53年特許頼第53-165626

2、発 剔 の 名 称

、正の俗性により走行距離をのばす方法とその装置

3、緒正をする者

特的出頭人 事件との関係

7888-0?

住 所 旗木県政府郡水上村大学岩野 1044 番地

氏名 版 · 使 的 - 209865-4-0242

4. 補 正 の 対 象

明細書の詳細な説明の関

明細書・図面 別紙の通り

88 MR 188

1.発明の名称

車の情性により起行距離をのばす方法とその装置

2. 特許請求の範囲

(1) 車の走行で車に加速が出来情力が付き、エンジンの回転より車の回転の方が早くなった時点で、エンジンの回転と車の回転とを自動的に切りばなし、同時にアクセルを選んでいてもエンジンの回転を低速回転にして、車を特性により走行させ、車の情性により走行距離をのばす方法。

(4) 前項記載の方法で並行の事をエンジンの回転を上げ加速あるいは適度を保っために、アクセルを賭せだけで自動的にエンジンの回転と車の回転とをつなぎ、加速あるいは適度を保っことが出来る。特許請求の範囲第1項記載の率の特性により走行距離をのばす方法。

(3) 特殊額求の範囲第1項及び第2項記載の方法の定行、又、従来通りの定行及び後退(パッ

1

ンの回転より車の回転の方が早くなった時点で、 自動的にエンジンの回転と車の回転とを切りはな し、車を衝性により走行させて、燃料の ℓ 当りの 走行距離をのばす方法及び装復である。

従来の車は車の並行で加速が出来構力が付き、エンジンの回転より 事自体で売る車の回転が早くなれば、エンジンはエンジンブレーキにより車の売行を妨げるので、車の速度を保つために必要以上に乗いやしているのである。

この発明は、エンジンの回転を率の定行に必要な だけ働かせ、エンジンの余分な回転を押えて燃料 の効率を高めることを目的とする。

安成の筋約が叫ばれている現在、自動車の燃料 ℓ 当りの走行距離又做費が注目されている時今、車 自休又エンジンの改良は進んでいるが、運転の方 法によってもずいぶんと走行距離はのぶらのである。

それは車に加速が出来得力が付いた時点で、クラッチを切り、エンジンの回転をスローに落し、 軍を

ク) が必要に応じて出来る勢許請求の範囲。 第1項及び第2項記載の車の惰性により定行距 離をのばす方法。

(4) 特許請求の範囲第1項第2項第3項記載の 方法の実施に直接使用するエンジンの回転より 本の回転の方が早くなった時点で、電気を通し 電磁機又は電動機等の作用によりクラッチの係 合を解除し、と同時にアクセルを踏んでいてし エンジンの回転を低速回転にして車を惰性によ り走行させ、又、エンジンの回転を上げ、加速 あるいは避度を保つためにアクセルを踏むだけ で自動的にクラッチを係合し、加速あるいは速 度を保つことが出来る。車の衛性により走行整 離をのばず複異。

(5) 特許請求の範囲第1項記載の方法の走行、 又は従来過9の走行及び後退 (バック) が必要 に応じて出来る。特許請求の範囲第4項記載の 車の構性により走行距離をのばす簽證。

3、発明の辞細な説明

この差別は車に加速が出来偏力が付き、エンジ

2

特性により走行させる。そして速度を集つ為、あるいは速度をあげるためにはクラッチを総合し、 同時にエンジンの回転をあげるのくり返しの運転をすることであるが、現代の運転者にはそぐわない。そこでこれを自動式にしたのがこの方法及び 装置である。

それは車に加速が出来、情力が付き、エンジンの回転より車の回転の方が早くなった関系で、電気を通す装置(構性短動機2)により電気を通じ、それにより自動的にクラッチの係合を解除(自動クラッチ操作機3)と間時に、アタセルを降んでいて自動的にニンジンの回転を低速回転に(アクセル調整機8) 停す。車は惰性により走行する。そして速度を保つため、あるいは速度を上げるためには、アクセルを一旦元へもどし、再び断込むと自動的にクラッチ(自動クラッチ機68)により自動のグラッチ機を上げると車のが遊れまり、は係る。しかし、車の惰性により走行距離をのばす方法により走行するのは、普通の道路(長い下り級道、

働りくねった山道等でない道路)での使用が選ま しく、庫のエンジンブレーキが必要な場合がある。 それは、長い下り製道、曲りくねった山道、車に 重荷を観んだ時、選転の初心著等である。

これらには安全を行上従来通りの急行が必要であるので、惰性により走行距離をのばす方法の定行。 又從来通りの急行及び後退(バック)が(バックの場合。東につたわる回転が前途の反対の回転なので、エンジンの回転より車の回転の方が取くなった時点で、エンジンの回転と車の回転とを切りはなす被置が動かないよう)簡単な操作により出来なければならず、そのための切替スイッチを運転者の手元へ付け、運転者が必要に応じ簡単に操作出来る機にする。又、惰性により変行距離をのばす方法の走行の時には、運転者に良くわかるように運転底の近くに目印のランプを付け、惰性により走行距離をのばす方法の走行、又は、從来通りの急行が一目で判別し安全に走行出来る機にする。

又、走行中に、ブレーキを必要とする総合、惰性

5

の車、エンジンの種類、東の種類に関係なく使用 する事が出来、情力の付きやすい大型の単から小 さな軽の車に至る迄必要に応じて採用する事が出 来るのも大きな特徴の一つである。この車の管性 により走行距離をのばす方法とその装置を必要に 応じ金単種に採用されたなら車の定行方法の一種 の革命であり、資源の節約に大きく貢献し省エネ ルギー時代にフッチした走行方法である。

次に本発明の一実施例を図面にしたがって説明 する。

エンジン(図面省路)の回転1Bより車の回転1Aの方が早くなると、存住伝動機2の2Eが時計の方向へ回転し、空間2Fへ移動し発端2Dを押し上げスイッチS1を入れる。その超速により自動クラッチ操作線9が作用してクラッチ4の综合を解除し、同時にアクセル調整線8の電磁機8Aの作用でアクセルロッド7Aを押す。7Aは支点11Aを育し、アクセルロッド7Bとの連絡をはずす。.

アクセルペタル7が踏まれている時は、アクセル

により発行距離をのば十方法の急行で、走行中プ レーキをかけると効まも悪く大変危険。 エンジン ブレーキを併用した方が効きも良く、各額の瞭線 も防げるので、ブレーキペタルに足がかかると、 スイッチが働き、クラッチの係合(自動クラッチ 後作機)が出来、ブレーやが作励する時にはエンジ ンプレーキも鉄用出来るので危険はなく、ブレー キの効果は変らない。 ブレーキペダルより足を離 すとスイッチが勤さ、クラッチの係合を解除、楕 性により進行距離をのばす方法の進行となる。 この方法及び要置で定行すると、確実に独特化当 りの車の走行距離をのばす事が出来るが、この方 後の特徴はどんなにエンジン又は章島体の改良が なされ、それにより必要が節約なされても、それ に加えて車の関性により走行距離をのはす方法と 装置により走行すればそれだけ众分に走行距離を のばす事が出来、エンジン又は取自体の改良等と は別に爆費の節約が出来るのである。 この走行方法及び装置は、例えば、ガソリンエン

この定行方位反び映解は、例えば、ガソリンエン ジンの乗用率だけと限定されることなく、すべて

6

こッド7A7日は押されていてアクセルの機能は 働いているが、電磁機8Aの作用で連結をはずさ れるとアクセルロッド7Bは元の位置へ返り、エ ンジンの回転は低速回転となる。アクセルロッド 7Aはアクセルペタル7を踏込まれていても空間 8Cへ入りアタセルの機能は備かない。

単は惰性により走行する。

電磁機8AはアクセルロッドでA及びアクセルロッドでBの連結をはずすとすぐ元の状態へ超る。 車の速度を砕つ為又は速度を上げる為には、アクセルペタルでから一旦足をはなすとアクセルロッドでAではあったの状態へ遅り、アクセルロッドでAでBは連結してクセル機能は回復する。アクセルベタルでを踏むとスイッチSの働きで電気を切り自動タブッチ操作機9が解除、グラッチをは係合しエンジンの回転を上げると率の速度を上げる。又は速度を保つことが出来る。

スイッチS54一旦電気を切るとすぐ元の状態へ 返る。自動クラッチ操作戦9の解除でクラッチの

特限 8355-- 914 23 (9)

保合の時にクラッチの保合衝撃が伝わらないよう に、自動クラッチ操作機会は電磁機又は電動機又 は浅体圧力又は気体圧力又はスプリング等により、 クラッチをゆるやかに保合するようにしなければ ならない。

なお巨動クラッチ操作機9は、電磁気又は電動機 又は液体圧力又は気体圧力又はスプリング等を、 距のエンジンの種類又は車の種類に応じて使用す るのが望ましい。

情性により走行距離をのばす方法の走行中、プレーキが必要な場合、プレーキペタル10~量がかかるとスイッテS4が働き、電気を切り自動クラッチ機作機9が解除、クラッテ4は保合し、ブレーキが作動する時には、エンジンプレーキも併用出来るので危険を防止出来る。プレーキペタルから足がはなれると、スイッテS4は元の状態へ返り、惰性により走行距離をのばす方法の走行で走行する事が出来る。

術性により定行距離をのばす方法の定行又は従来 通りの定行の切替えは運転者の平元へスイッチS 2を付ける。スイッチS2をOFFに十ると装置は筋がず、従来通りの単行が出来スイッチをONにすると装置は動く。車が設造(バック)の場合、回転軸の回転1 Bが反対になるので装置が締かないようにする為にギャチェンジ3 Aのパックの所にスイッチS3を付け、ギャチェンジをバックへ入れるとスイッチS3が超気を切り装定は倒かず後退(バック)が出来る。保性伝動機2のスプリング2 Cは突端2 Dの強弱を調整し、スイッチS1が適当な時期に入る接調整出来る様にする。又、アクセル調整機のスイッチS5もエンジンの回転と車の回転の関係で調整出来るようにするのが好ましい。

安金担行を保つ為には、惰性によりを行距離をのば十方法の走行又は往来通りの走行が選起を定に 目で制明出来るのが望ましく、惰性により起行型 概をのばす方法の患行のあスイッチ52をONに した時には運転者へ一目で判明する後に、ランプ 6を付け、選起車へ惰性により定行距離をのばす 方法の走行中を知らせて道路状況に応じ定行して

10

安全運転をする。

4、図面の簡単な説明

第1回は本発明の一実施例の全体を示す系統図。 第2回は構造伝動機の新面図である。

·2Bは2Aのかパー・

1回転軸

.2……惰性低動機

3---- 変速機

も……クラッチ

5……配 鉄

6……ラング

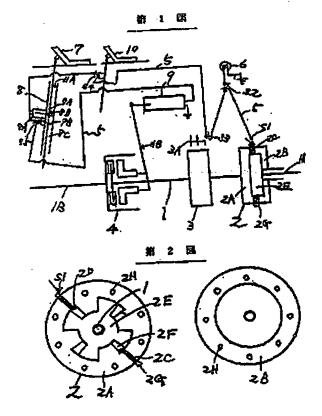
て……アクセルペタル

8…… アクセル講練機

9……自動クラッチ操作機

10……ブレーネベタル

特許出版人 無田 佳 司



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.